

令和5年度 自己評価・施設関係者評価

幼保連携型認定こども園 はるまちこども園

1. 保育理念

子どもたちの主体性を尊重し、子どもの最善の幸せを願いながら保護者や地域社会と共に歩める保育を目指す。

2. 運営方針・目標

- ・保育理念を実現するため、子どもを中心に保護者と保育者が共に育ち合えるこども園を目指す。
- ・保護者、地域と連携を大切に子どもたちをはじめ人から愛されるこども園をめざす。
- ・子どもたちの幸せを願い職員は子どもの姿を学び取りながら、質の高い保育を追求していく。
(子どもの良き理解者であること)

3. 保育方針

- ・子どもが心身ともにその子らしく成長することを見守る。
- ・遊びを通し、生きる根っ子を育ませる。
- ・子ども自身のもつ自己表現、主張を十分に発揮できる力を養う。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

A	大変よい
B	よい
C	一部検討を要する
D	改善を要する

項目	内容	評価	取り組み状況
保育・教育目標について	本園の理念・目標・方針が職員に周知されているか	A	・保護者には入園説明会、4月の園だより、ホームページ上で伝えているが、発信を強めるだけでなく、園の方針に保護者自らが興味を持てるよう行事等の園の思いも伝えてきた。
	本園の理念・目標・方針が保護者に周知されているか	B	
	理念・目標・方針に基づいた教育保育が行われているか	A	
教育・保育の計画	指導計画は乳幼児の心身の発達を踏まえ一年間の見通しを持った内容になっているか	A	・コロナが明け、これまでできなかったことや、保護者に見せたい子どもの姿という気持ちが強くなり、子どもに無理をさせてしまったように感じたところもあった。
	子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえ無理なく進めているか	B	

項目	内容	評価	取り組み状況
子どもたちの 発達援助	子ども一人一人の健康状態や発育・ 発達の状態を把握し、職員間で共有 されているか	B	・職員間の共有はできていたが、 そこからの変更に対しての共有は 難しかった。
	子どもたちが、安心感を持って過ご し、自分の気持ちを安心して表すこ とができるよう留意しているか	A	・年度の途中で子どもとの関わり についての振り返りを行い、改め て子どもたちとの関わる時間の大 切さ等を園内研修でも行った。
	子どもたちの興味や関心に沿って環 境が工夫され夢中で遊ぶことを大切 に考えているか	A	・今年度も子どもたちの遊びの広 がり、展開が多く見られた。それ に対しての職員の対応や関わりが クラスを越えて子ども主体で進め ていた活動は素晴らしかった。子 どもたちが日をまたいで遊びの続 きを楽しんでした。
	子どもたちの「やってみたい」「知り たい」気持ちを高め、チャレンジし てみることや最後までやり抜くこ とができるような援助をしているか	A	・身近な自然の体験を年齢に応じ て日々の保育で展開し楽しんでい た。今後は、体験したことを製作 へも繋げて欲しい。
	子どもたちが身近な自然の美しさや 不思議さを五感で感じる体験が出来 るような教育・保育が展開されてい るか	A	・配慮が必要な子どもに対して、 よく話し合い、検討を行ってい た。
	配慮が必要な子どもが安心して生活 できる保育環境が整備され、教育・ 保育の内容や方法に配慮されているか	A	
職員面の連携等 について	子どものことについて、保育者同士 で話し合い、クラスをこえて情報の 共有がされているか	A	会議、研修だけでなく休憩中にも 子どもの姿の会話は多く聞こえて いる。
保健・安全管理 について	園内外が清潔で心地よい空間になっ ているか	A	・日々の清掃に加え大掃除を年間 に3回行っている。
	個人情報の取り扱いについて、しっ かりと守られているか	A	・インスタグラム掲載等、何度も の確認を行っている。
	園で起きた事故・怪我に対して誠意 を持って対応しているか	A	・子どもの怪我は、全職員で共有 し誠意を持って対応している。
	事故予防・救急対応・火災・地震・ 不審者侵入等に臨機応変に対応出来 るよう、研修受講や訓練が行われて いるか	A	・訓練を重ね、意見を出し合い課 題、不安等に合わせて進めてい る。

項目	内容	評価	取り組み状況
保護者との連携 について	園からのおたよりやその他の方法 で、日々の子どもの様子を伝えているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化も進み配信は多かったが、未満児から幼児へと上がる3歳児クラスへの配慮は必要だった。 ・保護者自らの話には十分な対応は出来たが、自らの発信が少ない方との信頼関係の構築が必要。
	個々の子どもの様子を連絡帳や直接的に伝え合っているか	A	
	保護者の子育て感を聞き取り、連携して子育てにあたっているか	B	
地域子育て支援 について	地域における子育て家庭に心を寄せ 気軽に立ち寄る雰囲気があるか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援「ひだまり」でのリピーターが増えた。
小学校との連携 について	円滑な接続のため小学校への訪問・ 交流を実施しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え体験を通して小学校との交流の機会が増えた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育・保育の計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育、行事を「子どもにとって」という目線で計画する。
保護者との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことでも園に相談できるような関係性を築きたい。
配慮が必要な子どもに対して	<ul style="list-style-type: none"> ・園だけでなく、外部の専門職の方の力も借り専門性を高める。

6. 施設関係者評価委員のご意見

【保育・教育目標について】

・こども園の保育理念・保育方針である子どもたちの主体性を尊重した保育のあり方をすべての先生方が理解し、共有しているところが良いと思います。

【教育・保育の計画について】

・コロナが明け、1年間を通して様々な行事を計画、運営していただき子どもたちはかけがえのない経験をしていると思います。また行事終了後の保護者へのアンケートの実施により、改善点などを行事計画、運営に反映させていると思います。

【子どもたちの発達援助】

・園長先生はじめ先生方が子ども一人ひとりに寄り添い、保育方針である子ども自身のもつ自己表現、主張を十分発揮できる力を養えるように保育されていると思います。

【職員面の連携等について】

・担任の先生だけではなく、どの先生も子供たち一人ひとりに真剣に向き合い、愛情あふれる保育をいただいていると思います。また職員間での情報共有もしっかりできていると思います。

【保健・安全管理について】

・園内外は常に清潔な環境を保ち、整理整頓されていると思います。また災害等の対応についても臨機応変に対応できるように訓練しているところがよいと思います。

【保護者との連携について】

・コドモンアプリや写真などにより園での日常の様子について知ることができてよかったです。また個人面談では保護者の相談にも真摯に向き合ってくれて大変心強かったです。

【地域子育て支援について】

・先生方をはじめ園全体の雰囲気明るく、のびのびしている雰囲気がありよいと思います。

【小学校との連携について】

・田植え、稲刈り体験を通じて交流がありいいと思います。田植え、稲刈り体験だけではなく様々な行事で交流が増えれば双方にメリットがありよいと思います。

こども園における自己評価・施設関係者評価の結果がまとまりましたのでご報告いたします。自己評価・施設関係者評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園の資質向上に努めて参ります。